

12/31 2021

不安の年越し相談会 大阪・西成

新型コロナウイルスの感染拡大による影響で仕事を失ったり収入が減ったりし、年末年始の生活が不安な人たちを救おうと、大阪西成区のNPO法人などが30日から緊急相談会を始めた。必要な人には、食料や年明けまでの住まいを提供する。

NPO法人の「釜ヶ崎支援機構」や「ビッグイシュー基金」などが連携。この日は対面に加え、メールや電話で連絡があった計6人の相談に乗った。ビジネスホテルの計20室を来年1月7日

まで確保し、必要だと判断した人に提供するという。

相談に来た男性(37)は大阪市内の実家に身を寄せながら仕事を探している。

「コロナで仕事は見つからず、貯金を切り崩す生活で不安しかない。1日1食で過ごしているので、食料がとてもありがたい」。釜ヶ崎支援機構の小林大悟さん(34)は「本当に先行きがわからない。精神的に疲れ、心を削られている人たちが多い」と話した。

緊急相談会は来年1月3日まで開催。(狩野浩平)